

テクノロジー

FLOQSwabs®

FLOQSwabs®
プレアナリティクス
のターニングポイント

検体採取スワブの概念を
変えたスワブ

Copan
innovating together

特許を取得した技術

FLOQSwabs®はなぜ特別なのか？

CopanがFLOQ®テクノロジーに着目したのは2003年のことです。

この技術の最大の特徴は、短いNylon®繊維を垂直に植毛したチップにあります。

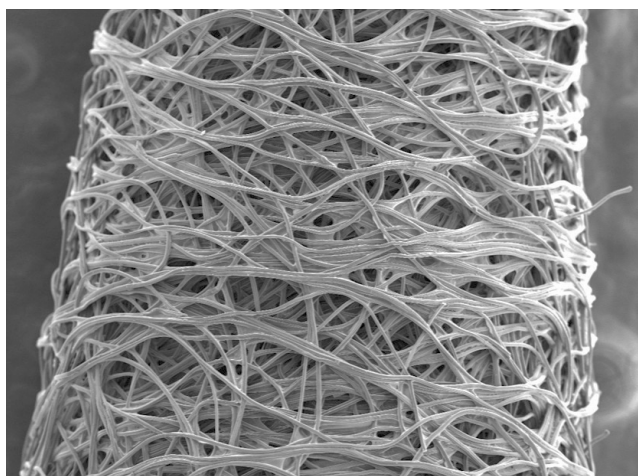
この発明は、プレアナリティクス (分析前処理) の世界に大きな変化をもたらし、検体採取スワブの概念を変える発明となりました。

構成

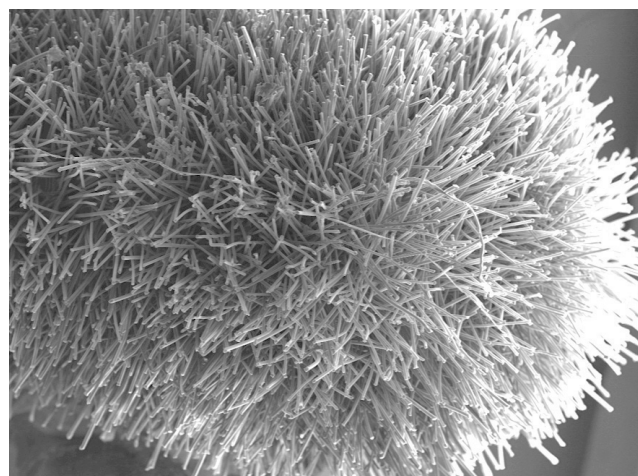
FLOQ®から FLOQSwabs®へ

FLOQSwabs®では、プラスチックシャフトが支えるチップ部分にFLOQ®技術が適用されています。

他のスワブの構造とは異なり、FLOQSwabs®は毛細管現象を利用した迅速な検体採取が可能となります。また、規則正しい繊維植毛構造により、採取した検体試料を効率よく放出'することができます。



通常の繊維スワブの顕微鏡画像



FLOQSwabs®の顕微鏡画像



フロクマーク

FLOQ®をフォローしてみましよう

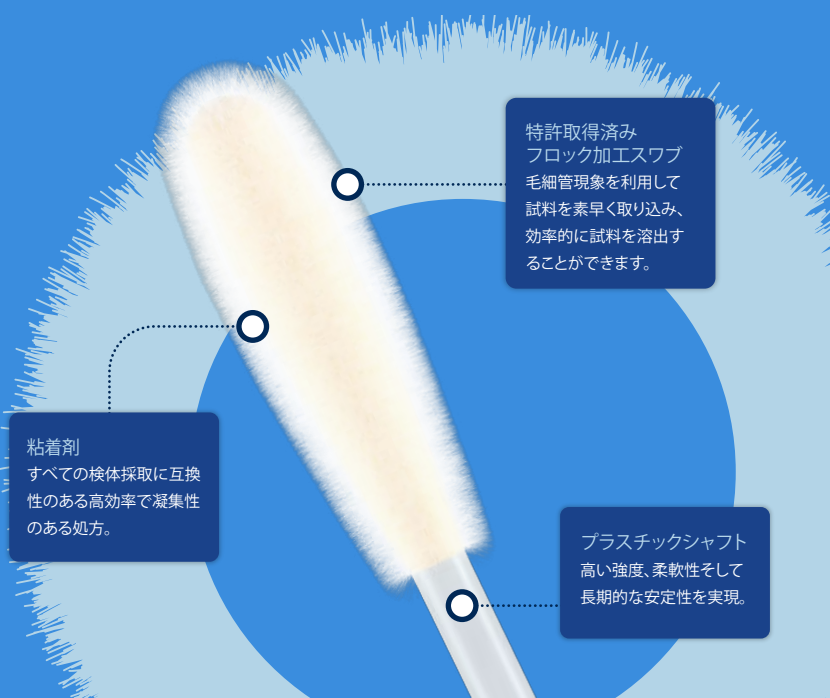
このフロクマークは、当社の特許技術であるFLOQ®技術が使用されているすべての製品、例えばFLOQSwabs®と組み合わせることができるすべての検体輸送メディアなどを分かりやすく示しています。このマークは、当社の印刷物やオンラインコンテンツなどで見つけることができますので是非探してみてください。





FLOQSwabs®は、カスタマイズ可能な成形プラスチック製のアプリケーターシャフトとチップから構成されており、様々なサイズや形状でご用意できます。

フロック加工が施されたFLOQSwabs®のチップは優れた検体採取能力と溶出効率を実現し、その後の分析における検査性能を向上させます。*



特許取得済み
フロック加工スワブ
毛細管現象を利用して
試料を素早く取り込み、
効率的に試料を溶出す
ることができます。

粘着剤
すべての検体採取に互換
性のある高効率で凝集性
のある処方。

プラスチックシャフト
高い強度、柔軟性そして
長期的な安定性を実現。

利点

プレアナリティクス（分析前処理）のターニングポイント

FLOQSwabs® は微生物学における分析前処理の世界にイノベーションをもたらし、医療従事者の要望に応えています。



高い検体採取能力と
溶出効率



検体採取を行うあらゆる
身体部位に対応する設計



様々な形状、シャフトやチップ
から選択可能



様々な媒体との組み合わせ
が可能

シャフトとチップ

検体採取効率を高め、オペレーターの安全に配慮

特別に設計されているプラスチック製のシャフトがフロック加工されたチップを支え、強度と柔軟性を兼ね合わせた設計となっています。

また、検体採取後にチューブ内のチップを簡単に分離できるようシャフトにブレイクポイントを設けることもできます。フロック加工が施されたチップと同様に、FLOQSwabs®のシャフトもすべてCopanが設計および製造を行っています。



企業価値を守る

Copanの知的財産へのアプローチ

継続的なイノベーションを目指すCopanの企業努力から生まれたFLOQSwabs®などの製品は、私たちにとって大きな意味を持ちます。私たちは、知的財産権を適正に取得し、公正かつ有効的にそれらを活用しながらビジネスを展開しています。



価値のあるツール。

全ての人にご利用いただくために

FLOQSwabs®は、サイズ、シャフト直径、先端のチップ形状が多様化し、様々な採取部位に対応しているだけでなく、数多くのアプリケーションと組み合わせで使用できます。

これによりFLOQSwabs®は、侵襲的で、痛みを伴い、費用のかかる検体採取手順に代わる、忍容性の高い代替手段となりました^{3,4}。

ご希望に応じて、カスタマイズされたFLOQSwabs®をご提供できますのでご連絡下さい。



様々なメディアとの互換性

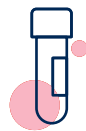
いくつもの理想的な組み合わせ

FLOQSwabs®は、細菌学およびウイルス学に基づく様々な検体採取および輸送メディアと組み合わせることでその柔軟性をさらに高めることができます。特定の採取部位、病原体、ダウンストリームアプリケーションなどのお客様のニーズに合わせて、最も適した組み合わせをご提案します。



UTM®

ウイルスの採取、輸送および保存のための輸送培地



eSwab®

細菌培養や核酸検出など多用途の検体採取、輸送および保存システム



eNAT®

微生物を不活性化する核酸検体の採取および保存用培地



Mswab®

核酸検査から培養に適切化された検体の採取、輸送および保存用デバイス



SRK®

環境表面および設備向け微生物検査用デバイス



セルフコレクション(自己検体採取)

疾患を予防し、健康を自らの手で

シンプルで快適さを求めたFLOQSwabs®の設計は、ポイントオブケア以外での検査の道を開きました。Copanは自己検体採取用に特別に設計された製品ラインを開発しています⁵。

自己検体採取による検査の普及は通院、就業、心理的および文化的な障壁などを軽減し、多くの人のヘルスケアプログラムへの参加を促しました^{6,7,8}。

FLOQSwabs®の活用

様々なアプリケーションに対する汎用性

2003年以来、微生物学や臨床科学の世界は大きく進化しました。時代の変化に合わせ、Copanは新しいアプリケーションに適合するスワブを拡充してきました。FLOQSwabs®はその優れた柔軟性と信頼に値する安定性によって臨床検査室、製薬会社、食品会社や犯罪捜査機関から選ばれ続け、さらには自己検体採取デバイスとしても世界的な成功を収めました。

FLOQSwabs®が活用されている様々なシーンに合わせて用意されているパンフレットを是非ご覧ください。



クリニカル

FLOQSwabs®のホームグラウンド。ウイルス、細菌や核酸検体採取における性能が臨床研究で広く活用されています。



ビジネスアライアンス (業務提携)

FLOQSwabs®は、医療診断を行う企業にとって理想的なパートナーです。



製造業

FLOQSwabs®テクノロジーは、食品、製薬および化粧品業界に広く活用されています。

参考学術文献

このプロダクトフォーカスで引用したすべての研究文献一覧

1. Zasada, A.A., Zacharczuk, K., Woźnica, K. et al. The influence of a swab type on the results of point-of-care tests. *AMB Expr*, 2020.
2. Patrick Kiio Munywoki, Fauzat Hamid, Martin Mutunga, et al. Improved detection of respiratory viruses in pediatric outpatients with acute respiratory illness by Real-Time PCR using nasopharyngeal Flocked swabs. *Journal of Clinical Microbiology*, 2011.
3. David J. Speicher, Kathy Luinstra, Emma J. Smith, et al. Non-invasive detection of IgG antibodies from common pathogenic viruses using oral flocked swabs. *Diagnostic Microbiology and Infectious Disease*, 2020.
4. Carolyne DeByle, Lisa Bulkow, Karen Miernyk, et al. Comparison of nasopharyngeal flocked swabs and nasopharyngeal wash collection methods for respiratory virus detection in hospitalized children using real-time polymerase chain reaction. *Journal of Virological Methods*, 2012.
5. Louise Cadman, Caroline Reuter, Mark Jitlal, et al. A randomised comparison of different vaginal self-sampling devices and urine for human papillomavirus testing - Predictors 5.1. *Cancer Epidemiol Biomarkers Prev*, 2021.
6. Su Pei Khoo, Wen Tzian Lim, Reena Rajasuriar, et al. The Acceptability and Preference of Vaginal Self-sampling for Human Papillomavirus (HPV) Testing among a Multi-ethnic Asian Female Population. *Cancer Prev Res*, 2021.
7. Avika Misra, David J. Speicher, Kathy Luinstra, et al. Self-collected oral flocked swabs to measure prevalence of Epstein-Barr Virus antibodies and DNA amongst university students. *Diagnostic Microbiology and Infectious Disease*, 2021.
8. M Saville, D Hawkes, MHT Keung, et al. Analytical performance of HPV assays on vaginal self-collected vs practitioner-collected cervical samples: the SCoPE study. *Journal of Clinical Virology*, 2020.



This document may contain product information otherwise not accessible or valid in your country. Please be aware that Copan Italia S.p.A. does take any responsibility for accessing such information which may not comply with any valid legal process, regulation, registration or usage in the country of your origin. Product clearance and availability restrictions may apply in some Countries. Please refer to Copan website (www.copangroup.com) to view and/or download the most recent version of the brochure. This document is mainly intended for marketing purposes, always consult product insert for complete information.
©2021 Copan Italia. All rights reserved. The trademarks mentioned herein are property of Copan Italia S.p.A.
Code: JMKCo2R02.JA



Copan Italia s.p.a.
Via Francesco Perotti 10,
25125 Brescia, Italy

t | f +030 2687211
@ | info@copangroup.com
www.copangroup.com